



東京神學大學

Tokyo Union Theological Seminary

2026年度

大学院神学研究科

博士課程前期課程入学者選抜

聖書神学専攻

組織神学専攻

博士課程後期課程入学者選抜

聖書神学専攻

組織神学専攻

学生募集要項

感染症、災害、不測の事態等により学生募集要項の内容を変更する場合があります。最新の情報については本学ホームページをご確認ください。

目 次

博士課程前期課程.....	2
◆東京神学大学大学院の理念・目的	
◆東京神学大学大学院神学研究科博士課程前期課程 3つのポリシー 学位授与方針・教育課程編成方針・入学者受け入れ方針	
1. 出願資格.....	4
2. 募集定員	
3. 試験日	
4. 試験会場	
5. 選考方法	
6. 出願手続.....	5
7. 受験票.....	6
8. 試験当日.....	7
9. 合格者発表	
10. 入学手続.....	8
11. 初年度学生納付金.....	9
12. 長期履修学生制度.....	10
13. 受験時および入学後に配慮が必要な場合	
<参考>筆記試験.....	11
 博士課程後期課程.....	 12
◆東京神学大学大学院の理念・目的	
◆東京神学大学大学院神学研究科博士課程後期課程 3つのポリシー 学位授与方針・教育課程編成方針・入学者受け入れ方針	
1. 出願資格.....	14
2. 募集定員	
3. 試験日	
4. 試験会場	
5. 選考方法	
6. 出願手続.....	15
7. 受験票.....	16
8. 試験当日.....	17
9. 合格者発表	
10. 入学手続.....	18
11. 初年度学生納付金	
12. 長期履修学生制度.....	19
13. 受験時および入学後に配慮が必要な場合	
<参考>筆記試験.....	20

博士課程前期課程

聖書神学専攻 組織神学専攻

◆ 東京神学大学大学院の理念・目的（東京神学大学大学院学則第1条・第2条に拠る）

東京神学大学大学院は、学校教育法第99条に基づき、キリスト教神学の理論および応用を教授研究する神学研究科を置き、博士課程を設けています。博士課程は、専攻分野について研究者として自立して研究活動を行うに必要な高度の研究能力およびその基礎となる豊かな学識を養うことを目的としています。

博士課程前期課程は、本大学あるいは他の大学神学部等における一般的、専門的教養の基礎の上に、広い視野に立って専攻分野を研究し、精深な学識を受け、専攻分野における研究能力とともに、キリスト教神学に関する高度の専門性を要する職業等に必要の高度の能力を養うことを目的とします。それによって、福音主義教会やキリスト教学校等に、専ら教職として、高度の神学的知識をもって仕え、主体的に神学的考察と判断をすることのできる伝道者を養成することを目指しています。

◆ 東京神学大学大学院神学研究科博士課程前期課程 3つのポリシー

学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

本課程では、強いリーダーシップを持った伝道者に欠かせない「主体的に神学する」能力を十分に身に付けること、その上で、伝道者が現実直面する諸課題・諸要求に、多様な協力関係の中での確に対応する能力を養うこと、教会やキリスト教学校等への赴任に向けた召命感が一層確立することが求められます。

そのために、本課程に2年（4学期）以上にわたって在学して、所定の単位（原則として44単位）を優れた成績（全科目の成績評価点平均（GPA）及び専攻科目のGPAがいずれも2.0以上）で修得し、修士論文についても合格を認められた学生は、上記の能力を身に付けたと見做され、修士（神学）の学位が授与されます。

教育課程編成方針（カリキュラム・ポリシー）

本課程においては、学生は聖書神学専攻または組織神学専攻のどちらかに所属します。

まず、主体的に神学する能力を養成するために開講される授業を履修します。授業は、専門的な知識を深めるために講義形式で行われるものと、主体的に神学する能力を身に付けるために演習形式で行われるもの、及び両者を組み合わせたものとが開講されます。神学における主体性を確立するためには、専門分野を深めると同時に、全分野を広く学ぶことを必要とすることから、その中から、より高度で専門的な知識を身に付けるために専攻科目20単位を、さらに広い視野に立つことを目指して、幅広い知識を身に付けるために専攻外科目10単位を履修します。

主体的に神学する能力の成果として、修士論文を作成します。修士論文の作成は、希望の指導教授による指導の下で1年次の後期から本格的に開始され、2年次の前期末に提出します。

修士論文を提出した者は、身に付けた主体的に神学する能力を踏まえて、伝道者が現実直面する諸課題・諸要求に対応する能力を養うことが求められます。そのために、2年次後期に集中的に実践神学研修課程の学びをし、実践に関わる極めて具体的な諸課題・諸問題についての取り組み方を学びます。

入学者受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）

東京神学大学は、現代の教会やキリスト教学校等に高度の専門的知識を持って仕える伝道者を養成するために、以下のような学生を求めます。

1. 召命を確信し、現代人の問いに答える福音を語る伝道者を目指す者
伝道者への召命を礼拝生活の中で吟味しつつ確信し、それを自分の言葉で明確に言い表すことができる者
召命が教会で受けとめられ、教会から献身者として推薦される者
公同的な福音主義信仰を告白し、福音の現代的な意義を自分の言葉で言い表すことができる者
2. 神学における学士レベルの基礎的知識を有する者
学士（神学）もしくはそれに準ずる学位を持つ者
神学の諸分野（旧約聖書神学・新約聖書神学・組織神学・歴史神学・実践神学）について、基礎的な知識を有する者
文献を原語で読むために必要な外国語（英語あるいはドイツ語）の基礎学力を有する者
（聖書神学専攻）聖書を原典で読むために必要な古典語（ヒブ来語あるいはギリシャ語）の基礎学力を有する者
3. 幅広い知識と豊かな教養を土台として、神学をさらに専門的に学び、高度な神学的知識をもって福音を伝道することを志す者
神学を学ぶ意義を理解し、さらに積極的に学ぶ意欲がある者
自ら神学的諸問題を発見し、それを学問的に取り扱うことができる者
4. 神に仕え、隣人に仕える積極的な姿勢を有する者
主日礼拝を重んじ、忠実に信仰生活を歩んでいる者
日々聖書を読んで祈る、祈りの生活が身に付いている者
召命にふさわしく自らを伝道のために献げる志と姿勢とが明確である者
5. コミュニケーション能力と論理的思考に基づく専門的能力を高めたいと願う者
教会共同体において基本的なコミュニケーションをとることができる者
福音を宣べ伝える伝道者としての人格形成を願い、そのために努める志が明確である者

1. 出願資格

次の(1)、および(2)または(3)に該当する者。ただし、留学生等は(1)、および(2)または(3)、ならびに(4)に該当する者。

- (1) 福音主義(プロテスタント)の教会に属し、洗礼(バプテスマ)を受けた後(幼児洗礼の場合は信仰告白後)原則として3年以上教会生活をしている者で、所属教会の推薦がある者。
- (2) 本大学または他の大学(外国の大学を含む)を卒業し、学士(神学)もしくはそれに準ずる学歴を有する者。または2026年3月学士(神学)取得見込の者。
- (3) 本大学院において、本大学学部を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者。該当者は、必ず出願前に本学にお問い合わせください。
- (4) <留学生等※>日本語能力に関して、次のいずれかに該当する者。

- ① 公益財団法人日本国際教育支援協会・独立行政法人国際交流基金主催の日本語能力試験のN1または1級合格者。
 - ② 公益財団法人日本国際教育支援協会・独立行政法人国際交流基金主催の日本語能力試験のN1の2025年度受験者。
 - ③ 学校教育法に定められている高等学校、中等教育学校、高等専門学校、専修学校高等課程、専修学校専門課程、短期大学、大学または大学院に在籍している者、あるいは在籍していた者。
- ※出願資格について不明な点は、出願前に本学にお問い合わせください。

2. 募集定員

聖書神学専攻(旧約聖書神学、新約聖書神学)：若干名
組織神学専攻(組織神学、歴史神学、実践神学)：若干名

3. 試験日

2026年2月10日(火)・11日(水)

※感染症等、やむを得ない理由により当日受験できなかった場合は、振替試験を申請し、本学が認めた場合に限り、2026年3月3日(火)に振替試験を受験することができます。詳細は受験票とともに通知します。

4. 試験会場

東京神学大学 (東京都三鷹市大沢3-10-30)

5. 選考方法

	聖書神学専攻	組織神学専攻
論文審査	学士論文もしくはそれに準ずるもの ●論文は出願時に提出する。	学士論文もしくはそれに準ずるもの ●論文は出願時に提出する。
筆記試験	① 外国語(90分) ●英語・ドイツ語のうち1科目を受験する。受験科目は出願時に選択する。 ●受験科目に応じて、英和辞典または独和辞典1冊の使用を認める。書き込みのないものを持参すること。電子辞書は不可。 ② 専攻に関係のある語学(60分) 旧約聖書神学—ヒブル語 新約聖書神学—ギリシャ語 ●本学が貸与する辞書の使用を認める。	外国語(90分) ●英語・ドイツ語のうち1科目を受験する。受験科目は出願時に選択する。 ●受験科目に応じて、英和辞典または独和辞典1冊の使用を認める。書き込みのないものを持参すること。電子辞書は不可。
面接試験 (口頭試問)	15分程度	15分程度

6. 出願手続

志願者は次の期間中に入学検定料を納入し、出願書類を本学所定の出願用封筒により簡易書留速達で提出してください。

◆本学ホームページより出願書類をダウンロードすることもできます(URLは本要項末尾に記載)。
その際は、レターパックプラスもしくは簡易書留速達で提出してください。

入学検定料納入および出願期間 (消印有効)	2025年1月6日(火)～1月13日(火)
--------------------------	-----------------------

(1) 入学検定料

26,000 円を上記期間中に、次の口座へ納入してください。

金融機関：三菱 UFJ 銀行 三鷹支店

口座番号：普通預金 0008788

口座名義：ガク) トウキョウシンガクダイガク

※振込依頼人名は志願者名としてください。

※振込手数料は振込人負担となります。

※金融機関の窓口から送金手続きをする場合、「願書等出願書類 所定用紙集」に含まれる振込用紙をお使いいただけます。ダウンロードした出願書類に振込用紙はありません。金融機関窓口の振込用紙をご使用ください。

(2) 出願書類

◆出願書類は、紙冊子と本学ホームページからダウンロードした願書のどちらでも使用できます。
ダウンロードする際は、別紙「願書等出願書類 所定用紙集について」を確認のうえ、A4サイズ of 用紙に印刷してください。提出先は次の通りです。

提出先：〒181-0015 東京都三鷹市大沢3-10-30 東京神学大学 教務課入試係

① 入学者選抜願書

- ・太枠内は表面・裏面とも漏れなく記入し、該当項目を○印で囲む。細枠内は記入不要。
- ・「聖書神学専攻」「組織神学専攻」のいずれか志望する専攻に○印を記入する。
- ・氏名は戸籍やパスポート等と同一の表記とする。
- ・年齢は2026年4月1日時点の満年齢を記入する。
- ・証明写真(縦5cm×横4cm。出願より3ヶ月以内に撮影し、正面、無帽、背景無地のもの。カラー／白黒どちらでも可。ただしスナップ写真不可)を貼付する。

② 入学者選抜願書 付表2

- ・太枠内に氏名を記入する。
- ・家庭状況
同居および帰省先の家族について、差し支えない範囲で記入する。
- ・語学関係検定資格取得状況
実用英語技能検定、ドイツ語技能検定、日本語能力試験等、語学に関する検定試験有資格者は資格取得状況を記入し、資格や検定試験の結果を証明する書類のコピーを同封する。

※付表2への記載内容は合否に一切関係しません。

③ 私の信仰経歴

- ・次の点について考えや思いをよく整理し、1,200字程度にまとめ、黒または青色のペンで書いてください。
 - *なぜ教会に通うようになり受洗に導かれたのか。
 - *キリスト者としてどのように歩んできたか。
 - *どのように召命を確信し、東京神学大学大学院への入学を志望するようになったのか。

④ 所属教会推薦書

- ・「所属教会推薦書作成についてのお願い」に推薦書提出用封筒を添えて、所属教会の牧師に作成を依頼してください。
- ・推薦書は、厳封のまま出願用封筒に同封して提出してください。

⑤ 受験票および宛名

- ・受験票は、願書受理通知および入学検定料受領書を兼ねます。

- ・氏名を記入し、証明写真（縦 5cm×横 4cm。出願より 3 ヶ月以内に撮影し、正面、無帽背景無地のもの。カラー／白黒どちらでも可。ただしスナップ写真不可）を貼付してください。
- ・受験票の専攻・受験番号の欄は記入せず、氏名のみを記入してください。
- ・宛名は、本学からの連絡・通知の際に使用するため、郵便物が確実に届くよう丁寧に記入してください。

⑥ 東京神学大学入学後の生活調査

- ・入学後に見込まれる生活状況について、差し支えない範囲で記入してください。
- ※生活調査への記載内容は可否に一切関係しません。

⑦ 受験票返送用封筒

- ・簡易書留速達分 760 円の切手を貼付する。（定形郵便 110 円＋簡易書留 350 円＋速達 300 円）
- ・表面に受験票の送付先住所・郵便番号・氏名を明記する。

◆ダウンロードした出願書類を使用する場合は、長 3 サイズ(23cm×12cm)の封筒を用意。

⑧ 大学の成績証明書

- ・出願資格となる大学（外国の大学を含む）の成績証明書（和文または英文）の原本を原則、厳封で提出すること。

※出願資格(3)に該当し、証明書を得られない場合は、出願前に本学にお問い合わせください。

⑨ 大学の卒業(見込)証明書

- ・出願資格となる大学（外国の大学を含む）の卒業（見込）証明書（和文または英文）の原本を原則、厳封で提出する。

※出願資格(3)に該当し、証明書を得られない場合は、出願前に本学にお問い合わせください。

⑩ 論文

- ・志望専攻分野における学士論文もしくはそれに準ずる論文の写しを提出する。
- ・言語は日本語に限り、本文の分量は 12,000 字～20,000 字。
- ・A4 用紙（横書き）にて作成する。

⑪ <留学生等>日本語能力が出願資格を満たすことを証明する書類

- ・出願資格(4)①に該当する者は、「日本語能力認定書」もしくは「日本語能力試験合否結果通知書」のコピーを提出する。
- ・出願資格(4)②に該当する者は、2025 年度日本語能力試験の受験票のコピーを提出する。
- ・出願資格(4)③に該当する者は、上記出願書類の⑧および⑨を提出する。

(3) 出願上の注意

- ① 出願書類等を記入する際は、黒または青のペンで記入してください。鉛筆・シャープペンシル・フリクション等の消せるペンは使用不可。
- ② 訂正箇所は、二重線で訂正してください。修正液・修正テープ等は使用不可。
- ③ 出願書類一式を、以下のいずれかの方法で郵送してください。
 - ・簡易書留速達
 - ・レターパックプラス（レターパックライトは授受の記録が残らないので不可）
- ④ 出願期間を過ぎて提出された出願書類は、一切受け付けません。
- ⑤ 納入された入学検定料および提出された出願書類は、理由の如何を問わず返還しません。
- ⑥ 虚偽の書類が提出された場合あるいは提出書類に虚偽の記載があった場合には、受験資格を取り消します。また、合格後に虚偽の記載あるいは虚偽の書類の提出が判明した場合においても、入学許可を取り消します。

7. 受験票

受験票は簡易書留速達で発送します。その際、試験当日のプログラムを同封します。

受験票発送日	2026年1月30日(金)
--------	---------------

注意事項

日本郵便による不在連絡票を受け取った場合は速やかに対応し、受験票を確実に受け取ってください。

- ① 受験票が未着の場合は、2026年2月4日(水)までに教務課へ電話で連絡してください。
(Tel: 0422-32-4185)
- ② 受験票を紛失した場合は、速やかに教務課に申し出てください。
- ③ 試験当日は受験票を必ず持参し、常に携帯してください。

8. 試験当日

(1) プログラム

◆1日目:2026年2月10日(火)

① 受付

午前8時40分～50分の間に本人確認等を行います。

② 礼拝

試験に先立って礼拝が行われますので、聖書・讃美歌をお持ちください。

本学では、新共同訳聖書と1954年版讃美歌Ⅰ・Ⅱ編を用いています。

③ 筆記試験

- ・ 鉛筆・消しゴム等の筆記用具を持参してください。
- ・ 外国語試験(英語・ドイツ語)に関しては、受験科目に応じて英和辞典・独和辞典1冊の使用を認めるので、書き込みのないものを持参してください。ただし電子辞書は持ち込みできません。
- ・ 専攻に関係のある語学の試験においては、本学が貸与する次の辞書のみ使用可。

ヒブル語: Holladay, W. L. *A Concise Hebrew and Aramaic Lexicon of the Old Testament*.

Grand Rapids: Eerdmans, 1971.

ギリシャ語: Bauer, W. *A Greek-English Lexicon of the New Testament and other Early Christian Literature*. 3rd ed. Revised and edited by F. W. Danker.

Chicago and London: The University of Chicago Press, 2000.

◆2日目:2026年2月11日(水)

面接試験(口頭試問)

面接開始時刻の30分前を目安に来校し、受験生控室にて待機してください。

面接試験会場では、受験票以外のものを手元に置かないでください。

(2) 注意事項

- ① 事故等でやむを得ず遅刻する時は、教務課へ電話で連絡してください(Tel:0422-32-4185)。連絡できずに遅れて到着した時は、まず教務課で指示を受けてください。
- ② 携帯電話・スマートフォン・ウェアラブル端末・イヤフォン等は使用禁止です。礼拝・試験開始前にアラームの設定を解除し、電源を切りカバン等にしまってください。
- ③ 試験中に体調が悪くなった場合は、監督者に申し出てください。
- ④ 学生食堂等はありません。試験当日のプログラムによっては、昼食等を持参してください。
- ⑤ 付き添い者の控室はありません。また、受験生以外は建物や敷地の中に入ることはできません。

9. 合格者発表

合格者発表は掲示および通知の送付により行います。

合格者発表日時	2026年2月13日(金) 午前11時
---------	---------------------

(1) 合格者掲示

合格者発表日時から翌日正午まで、合格者の受験番号を本学掲示板に発表します。

(2) 可否通知等送付

合格者には合格通知証および入学手続書類を、不合格者には不合格通知を、発表日に授受の記録が残る郵便（レターパックプラス等）にて発送します。その際、出願時提出の「宛名」を使用します。

注意事項

可否通知等の窓口での直接交付は行いません。また、可否に関する電話等による問い合わせには、一切応じられません。

10. 入学手続

入学手続に関する詳細は合格者に書面で通知します。

(1) 入学金

合格者は入学金を入学金納入締切日までに納めてください。

入学金	290,000円
入学金納入締切日	2026年2月27日(金)

(2) 提出書類

合格者は次の書類を入学手続書類提出締切日必着で提出してください。

- ① 新入時学籍情報
- ② 学生証用写真（データもしくは縦 3.0cm×横 2.5cm のプリント）
- ③ 保証書
- ④ 住民票記載事項証明書（提出日より 3 ヶ月以内に発行されたもの）
- ⑤ 教会生活に関する調査

入学手続書類提出締切日	2026年2月27日(金)
-------------	---------------

(3) 注意事項

- ① 一度納入された入学金および提出された書類は、理由の如何を問わず返還しません。
- ② 締切日までに、入学金納入と入学手続書類提出がない場合は、入学辞退とみなします。
- ③ 入学手続を完了した後、やむを得ない理由により入学を辞退する場合は、速やかに申し出てください。2026 年 3 月 31 日（火）までに入学辞退を届け出る書面が提出され、本学が認めた場合に限り、入学金を除く学生納付金（授業料・施設費）から振込手数料を差し引いた金額を返還します。なお、入学辞退の理由が正当性を欠く場合、および期日までに入学辞退届の提出がない場合は、学生納付金（授業料・施設費）は返還しません。
- ④ 出願時に出願資格となる学校に在籍中であった者は、2026 年 4 月 1 日(水)入学式までに、次の書類の原本（和文または英文）を原則、厳封で提出してください。
 - ・ 出願資格となる大学等の最終学期の成績が含まれている成績証明書
 - ・ 出願資格となる大学等の卒業証明書
- ⑤ 出願時に日本語能力試験の受験票のコピーを提出した留学生等は、2026 年 4 月 1 日(水)入学式までに、日本語能力試験 N1 の「日本語能力認定書」もしくは「日本語能力試験可否結果通知書」のコピーを提出してください。

11. 初年度学生納付金

詳細は合格者に書面で通知します。

初年度学生納付金		納入額	納入締切日
入学金 (a)		290,000 円	2026 年 2 月 27 日 (金)
学費 *1	授業料 <年額> *2	540,000 円	2026 年 4 月 3 日 (金) 予定
	施設費 <入学時のみ>	240,000 円	
学費計 (b)		780,000 円	
諸費 *3	神学会費 <年額> *4	3,300 円	入学後に通知
	学生教育研究災害傷害保険料 *5	1,400 円	
	コピーテキスト代 <年額>	1,000 円	
諸費計 (c)		5,700 円	
初年度学生納付金合計 (a) + (b) + (c)		1,075,700 円	

● 次年度以降は授業料・神学会費・コピーテキスト代を納入します。

*1 学費

入学金と同時に授業料・施設費の全額を納入しても差し支えありません。

*2 授業料

授業料は学期ごとに分納することができます。その場合の納入額と納入締切日は次の通りです。

- ・前期分 270,000 円：2026 年 4 月 3 日 (金) 予定
- ・後期分 270,000 円：2026 年 10 月 9 日 (金)

*3 諸費

諸費は 2025 年度実績です。2026 年度の納入額および納入締切日は入学後に通知します。

*4 神学会

神学会は、神学研究誌『神学』の刊行や講演会の開催等、東京神学大学の神学活動を行っています。本学の専任教員および学生は全員加入し、その会員となることが「東京神学大学神学会会則」により定められています。会員は、毎年度会費を納入することで、当該年度の『神学』の配付を受け、神学会主催の講演会等に参加することができます。

*5 学生教育研究災害傷害保険料

学生教育研究災害傷害保険とは、大学における学生の教育研究活動中(通学中を含む)に被った災害に対し、公益財団法人日本国際教育支援協会が窓口となった全国的な補償制度です。本学学生は、入学時に全員加入します。保険内容は、入学後に配付される『学生教育研究災害傷害保険加入者のしおり』にて確認してください。なお、1,400 円は 2 年分の保険料です。

※長期履修学生制度を利用する場合は、年度毎の納入額が異なります。(次項「12. 長期履修制度」を参照してください。)

12. 長期履修学生制度

長期履修学生制度は、キリスト教職として教会に仕えている、あるいは育児・介護等の事情により研究・学習活動に充てられる時間が限られ、標準修業年限（前期課程は2年）では大学院の教育課程の修学が困難な者を対象とした制度です。4年間にわたって計画的に教育課程を履修し、修了および学位の取得を目指すことができます。

授業料は、標準修業年限（2年）分の授業料に相当する額を、長期履修期間（4年、ただし早期修了となる場合には3年）に応じて納付します。具体的な納入額、納入時期等については、長期履修が許可される場合、合格通知証および入学書類とともに通知します。

本制度の利用を希望する場合は、教務課から願書等の出願書類を取り寄せてください。入学者選抜の出願期間内に、願書等の出願書類とともに、①長期履修学生志願書、②理由書、③申請資格を証明する書類のコピー（①②は所定用紙を希望者に配付）を提出してください。入学後の1年次中に申請することもできますが、2年次以降に長期履修に変更することはできないのでご注意ください。

13. 受験時および入学後に配慮が必要な場合

東京神学大学では、障がい等の事由で受験時・入学後に配慮が必要な場合、個々の状況に応じた合理的な配慮を行っています。配慮を希望する者は、次の手順により申請してください。

(1) 手順

- ① 出願に先立ち、教務課入試係に面談を申し込みます。2025年12月6日（土）〔オープンキャンパス〕までに面談を終えられるよう日程に余裕を持ってください。
- ② 所属教会牧師または代理者の同席のもと、本学入試担当教員と面談し、障がい等の状況・教会生活の状況・希望する配慮等について確認します。
- ③ 面談を受けて本学が検討したこと、ならびに、受験時・入学後に本学が提供し得る合理的配慮の内容を書面で受け取ります。
- ④ 上記③に同封される「受験上の配慮申請書」（本学所定）および「障害者手帳」（障がいの種類と等級記載のページ）のコピーまたは医師の診断書を、出願書類と共に出願期間内に提出します。

(2) 注意事項

- ① 合格した場合、入学手続完了後、修学上の具体的な配慮について改めて確認することもあります。
 - ② 出願後、不慮の事故等により同様に配慮を希望するに至った場合、速やかに申し出てください。
- ※提出書類は希望する配慮について確認するためのものであり、合否に一切関係しません。

<参考> 筆記試験

1. 外国語試験

聖書神学専攻・組織神学専攻とも外国語試験（英語・ドイツ語より1科目を選択）が課せられます。試験時間は90分です。受験科目に応じて、書き込みのない英和辞典または独和辞典1冊のみ持ち込むことができます。電子辞書は持ち込むことができません。

(1) 出題の意図

神学を学び、また研究を進めるために必要な、英語あるいはドイツ語の神学文献の理解力を評価します。制限時間内にできるだけ早く、正確に日本語訳することが求められます。

(2) 過去の出題

◆英語

年度	出典
2025年度	John Fea, <i>Why Study History? Reflecting on the Importance of the Past</i> (Grand Rapids, MI: Baker Academic, 2 nd edition, 2024), pp. 88-90.
2024年度	Alister E. McGrath, <i>Faith and Creeds: A Guide for Study and Devotion</i> (London: SPCK Publishing, 2013), pp. 66-68.
2023年度	John Milbank, <i>The Word Made Strange: Theology, Language, Culture</i> (Oxford: Blackwell Publishers, 1997), pp. 145-146.

◆ドイツ語

年度	出典
2025年度	Friedrich Schweitzer, <i>Bildung</i> , Neukirchen-Vluyn, 2014, S. 45-46.
2024年度	Kathrin Oxen und Holger Eschmann, Predigt. In: Folkert Fendler (Hg.), <i>Qualität im Gottesdienst</i> . (Gütersloh: Gütersloher Verlagshaus ² 2017) S. 235-236.
2023年度	Christoph Schwöbel, "Einleitung: Dimensionen der Leiblichkeit", in: Bernd Janowski / Christoph Schwöbel (Hg.), <i>Dimensionen der Leiblichkeit. Theologische Zugänge</i> (Neukirchen-Vluyn: Neukirchener Verlag, 2015) S. 1-3.

2. 専攻に関係のある語学

聖書神学専攻志願者には、専攻に関係のある語学の試験が課せられます。試験時間は60分です。（受験科目に応じて、本学が貸与するヒブル語もしくはギリシャ語の辞書の使用可。）

(1) 出題の意図

旧約聖書神学あるいは新約聖書神学の研究を遂行するために必要な聖書原典の読解力を評価します。ヒブル語あるいはギリシャ語の聖書原典が提示され、出題箇所を正確に日本語訳することが求められると同時に、基本的な文法事項の理解が問われます。

(2) 過去の出題

◆旧約聖書神学専攻：ヒブル語

2025年度の出題は、「次のヒブル語の文章を、できるだけ正確な日本語に訳しなさい。」「上記のヒブル語の文中に現れるいくつかの動詞をパーズしなさい。」でした。

年度	出題された聖書箇所
2025年度	イザヤ書 42章1～4節
2024年度	創世記 22章1～3節
2023年度	創世記 28章10～15節

◆新約聖書神学専攻：ギリシャ語

2025年度の出題は、「次の文章を日本語に訳し、動詞をすべて取り出して、文法的に説明しなさい。」でした。

年度	出題された聖書箇所
2025年度	マタイによる福音書 7章24～29節
2024年度	マタイによる福音書 5章43～48節
2023年度	マタイによる福音書 5章17～20節

博士課程後期課程

聖書神学専攻 組織神学専攻

◆ 東京神学大学大学院の理念・目的（東京神学大学大学院学則第1条・第2条に拠る）

東京神学大学大学院は、学校教育法第99条に基づき、キリスト教神学の理論および応用を教授研究する神学研究科を置き、博士課程を設けています。博士課程は、専攻分野について研究者として自立して研究活動を行うに必要な高度の研究能力およびその基礎となる豊かな学識を養うことを目的としています。

博士課程後期課程は、神学における国内外の学界へ学問的貢献ができる専門的学識を有し、高等教育機関において研究者また教育者として貢献し、教会や社会のあり方についての諸課題に深く取り組むことのできる人材を育成することを目指します。

◆ 東京神学大学大学院神学研究科博士課程後期課程 3つのポリシー

学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

本課程では、自立した研究活動により神学における国内外の学界への学問的貢献ができるレベルの専門的学識を修得すること、また、高等教育機関において研究者・教育者として継続的に研究業績を出すことのできる能力を身に付けることが求められます。

そのために、本課程に3年（6学期）以上にわたって在学して①所定の単位（16単位）を修得し、②外国語学力認定試験に合格し（85点以上）、③学術小論文1本を学術誌に発表し、④3科目にわたる論文提出資格認定試験に合格した（85点以上）とき、博士論文の提出資格が与えられます。さらに指導教授の指導の下で論文を完成・提出し、審査委員会による審査（口述試験を含む）に合格（80点以上）すると、博士（神学）の学位が授与されます。

教育課程編成方針（カリキュラム・ポリシー）

本課程においては、学生は聖書神学専攻または組織神学専攻のどちらかに所属します。

両専攻とも、教育課程は授業の履修と博士論文作成の二つの柱からなります。

まず、神学における国内外の学界への学問的貢献ができるレベルの専門的学識を身に付けるために、授業を履修します。授業は、専門的な学識を深めるために講義形式で行われるものと、自立した研究能力を身に付けるために演習形式で行われるもの、及びその両者を組み合わせたものとが開講されます。その中から、専門分野の後期課程レベルの神学的知識を身に付けるために専攻科目12単位を、さらに、幅広く深い神学の理解を身に付けるために専攻外科目4単位を履修します。

それを踏まえつつ、自立した研究活動によって継続的に研究業績を出すことのできる能力を身に付けるために、また学問的成果の一つとして、博士論文を作成します。論文提出に備え、指導教授による指導計画書（年度初め）と学生による研究報告（年度末）、さらに研究発表を踏まえながら、指導教授によって個別に論文指導がなされます。同時に、神学における国内外の学界への学問的貢献ができるレベルの専門的学識を修得したかどうかを確認するため課される外国語学力認定試験や論文提出資格認定試験等、論文提出資格取得のための諸条件を満たすことを目指しつつ、論文を作成していきます。

入学者受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）

東京神学大学は、福音の伝道に資することを願い、自立した研究活動により神学における国内外の学界への学問的貢献ができる伝道者を養成するために、以下のような学生を求めます。

1. 召命を確信し、神学における高度な専門的学識に基づいて教育・研究を担うことを目指す伝道者
公同的な福音主義信仰に立ち、福音を現代世界に宣べ伝える召命を確信する伝道者
教会の伝道に仕えるために、高等教育機関において教育・研究を担うことを召命と受けとめる者
2. 神学における修士レベルの専門的知識を有する者
修士（神学）もしくはそれに準ずる学位を持つ者
主体的に神学する能力を有する者
文献を原語で読むために必要な外国語（英語あるいはドイツ語）の学力を有する者
3. 国内外の高等教育機関等において学問的に貢献することを目指す者
自ら神学的諸問題を発見し、それを高度に学問的に取り扱うことができる者
神学における国内外の学界に学問的に貢献することを願う者
4. 神に仕え、隣人に仕える積極的な姿勢を有する者
教会やキリスト教学校等で、福音の伝道に誠実に携わる経験を有する者
5. コミュニケーション能力と論理的思考に基づく専門的能力を高めたいと願う者
伝道者が現実に直面する諸課題・諸要求に、多様な協力関係の中での的確に対応する能力を有する者

1. 出願資格

次の(1)、および(2)または(3)に該当する者。ただし、留学生等は(1)、および(2)または(3)、ならびに(4)に該当する者。

- (1) 福音主義(プロテスタント)の教会に属し、洗礼(バプテスマ)を受けた後、原則として3年以上教会生活をしている者で、所属教会もしくは所属教団の推薦がある者。
- (2) 東京神学大学大学院または他の大学院(外国の大学院を含む)において、修士(神学)もしくはそれに準ずる学位を得た者。もしくは、2026年3月に修士(神学)の学位を取得見込、または、それに準ずる学位を取得見込の者。
- (3) 文部科学大臣の指定した者で、本大学院の研究科委員会による個別の入学資格審査により、修士(神学)の学位を得た者と同等の学力を有すると認められた24歳以上の者。該当者は、出願資格の有無についての事前審査を要します。出願資格審査要項を教務課より取り寄せてください。
- (4) <留学生等※>日本語能力に関して、次のいずれかに該当する者。
 - ① 公益財団法人日本国際教育支援協会・独立行政法人国際交流基金主催の日本語能力試験のN1または1級合格者。
 - ② 公益財団法人日本国際教育支援協会・独立行政法人国際交流基金主催の日本語能力試験のN1の2025年度受験者。
 - ③ 学校教育法に定められている高等学校、中等教育学校、高等専門学校、専修学校高等課程、専修学校専門課程、短期大学、大学または大学院に在籍している者、あるいは在籍していた者。

※出願資格について不明な点は、出願前に本学にお問い合わせください。

2. 募集定員

聖書神学専攻(旧約聖書神学、新約聖書神学)：若干名
組織神学専攻(組織神学、歴史神学、実践神学)：若干名

3. 試験日

2026年2月10日(火)・11日(水)

※感染症等、やむを得ない理由により当日受験できなかった場合は、振替試験を申請し、本学が認めた場合に限り、2026年3月3日(火)に振替試験を受験することができます。詳細は受験票とともに通知します。

4. 試験会場

東京神学大学 (東京都三鷹市大沢3-10-30)

5. 選考方法

	聖書神学専攻	組織神学専攻
論文審査	修士論文もしくはそれに準ずるもの ●論文は出願時に提出する。	
筆記試験	外国語(90分) ●英語・ドイツ語のうち1科目を受験する。 受験科目は出願時に選択する。 ●受験科目に応じて、英和辞典または独和辞典1冊の使用を認める。 書き込みのないものを持参すること。電子辞書は不可。	
面接試験 (口頭試問)	20分程度	

6. 出願手続

志願者は次の期間中に入学検定料を納入し、出願書類を本学所定の出願用封筒により簡易書留速達で提出してください。

◆本学ホームページより出願書類をダウンロードすることもできます(URLは本要項末尾に記載)。その際は、レターパックプラスもしくは簡易書留速達で提出してください。

入学検定料納入および出願期間 (消印有効)	2026年1月6日(火)～1月13日(火)
--------------------------	-----------------------

(1) 入学検定料

26,000 円を上記期間中に、次の口座へ納入してください。

金融機関：三菱 UFJ 銀行 三鷹支店

口座番号：普通預金 0008788

口座名義：ガク トウキョウシンガクダイガク

※振込依頼人名は志願者名としてください。

※振込手数料は振込人負担となります。

※金融機関の窓口から送金手続きをする場合、「願書等出願書類 所定用紙集」に含まれる振込用紙をお使いいただけます。ダウンロードした出願書類に振込用紙はありません。金融機関窓口の振込用紙をご使用ください。

(2) 出願書類

◆出願書類は、紙冊子と本学ホームページからダウンロードした願書のどちらでも使用できます。

ダウンロードする際は、別紙「願書等出願書類 所定用紙集について」を確認のうえ、A4サイズの下紙に印刷してください。提出先は次の通りです。

提出先：〒181-0015東京都三鷹市大沢3-10-30 東京神学大学 教務課入試係

① 入学者選抜願書

- ・ 太枠内は表面・裏面とも漏れなく記入し、該当項目を○印で囲む。細枠内は記入不要。
- ・ 「聖書神学専攻」「組織神学専攻」のいずれか志望する専攻に○印を記入する。
- ・ 氏名は戸籍やパスポート等と同一の表記とする。
- ・ 年齢は 2026 年 4 月 1 日時点の満年齢を記入する。
- ・ 証明写真（縦 5cm×横 4cm。出願より 3 ヶ月以内に撮影し、正面、無帽、背景無地のもの。カラー／白黒どちらでも可。ただしスナップ写真不可）を貼付する。

② 入学者選抜願書 付表2

- ・ 太枠内に氏名を記入する。
 - ・ 家庭状況
同居および帰省先の家族について、差し支えない範囲で記入する。
- ※付表 2 への記載内容は合否に一切関係しません。

③ 志望理由書

- ・ 本研究科への志望動機および志望する専攻とその理由について、本学所定用紙に 1,000 字～1,200 字でまとめてください。
- ・ ワープロで作成したものを貼付する場合は、割印をする。

④ 所属教会等推薦書（教区長、支区長、他の教職者による推薦状）

- ・ 「所属教会推薦書作成についてのお願い」に推薦書提出用封筒を添えて、所属教会の牧師に作成を依頼してください。
- ・ 志願者がキリスト教会の教職ではない場合、所属教会牧師に推薦書作成を依頼する際には、教会の信徒代表者の署名・押印を依頼してください。
- ・ 推薦書は、厳封のまま出願用封筒に同封して提出してください。

⑤ 所属学校長の承諾書

- ・ キリスト教学校教員で在職のまま志願する者のみ提出する。
- ・ 所属学校長の同意を得て、所属学校長に署名・押印を依頼する。

⑥ 受験票および宛名

- ・ 受験票は、願書受理通知および入学検定料受領書を兼ねます。

- ・氏名を記入し、証明写真（縦 5cm×横 4cm。出願より 3 ヶ月以内に撮影し、正面、無帽、背景無地のもの。カラー／白黒どちらでも可。ただしスナップ写真不可）を貼付してください。
- ・受験票の受験番号・専攻の欄は記入せず、氏名のみを記入してください。
- ・宛名は、本学からの連絡・通知の際に使用するため、郵便物が確実に届くよう丁寧に記入してください。

⑦ 受験票返送用封筒

- ・簡易書留速達分760円の切手を貼付する。（定形郵便110円＋簡易書留350円＋速達300円）
- ・表面に受験票の送付先住所・郵便番号・氏名を明記する。

◆ダウンロードした出願書類を使用する場合は、長3サイズ(23cm×12cm)の封筒を用意。

⑧ 大学院の成績証明書※

- ・出願資格となる大学院（外国の大学院を含む）の成績証明書（和文または英文）の原本を原則、厳封で提出する。

※出願資格(3)に該当し、証明書を得不られる場合は、出願前に本学にお問い合わせください。

⑨ 大学院の修了（見込）証明書※

出願資格となる大学院（外国の大学院を含む）の修了（見込）証明書（和文または英文）の原本を原則、厳封で提出する。

※出願資格(3)に該当し、証明書を得不られる場合は、出願前に本学にお問い合わせください。

⑩ 論文

- ・志望専攻分野における修士論文もしくはそれに準ずる学術論文の写しを提出する。
- ・言語は日本語に限り、分量は 24,000 字～40,000 字。
- ・A4 用紙（横書き）にて作成する。

⑪ 論文の概要

- ・提出する論文の概要を 3,000 字～4,000 字にまとめる。言語は日本語に限る。
- ・A4 用紙（横書き）にて作成する。

⑫ 研究計画書

本学所定表紙をつけ、左上をクリップで留める。

⑬ 修士論文等以外の研究業績一覧

- ・本学所定用紙に記載し、現物あるいはコピーを併せて提出する。
- ・研究業績の書籍等が封筒に入らない場合は、授受の記録が残る方法（簡易書留・宅配便等）で別送する。

⑭ <留学生等>日本語能力が出願資格を満たすことを証明する書類

- ・出願資格(4)①に該当する者は、「日本語能力認定書」もしくは「日本語能力試験合否結果通知書」のコピーを提出する。
- ・出願資格(4)②に該当する者は、2025 年度日本語能力試験の受験票のコピーを提出する。
- ・出願資格(4)③に該当する者は、上記出願書類の⑧および⑨を提出する。

(3) 出願上の注意

- ① 出願書類等を記入する際は、黒または青のペンで記入してください。鉛筆・シャープペンシル・フリクション等の消せるペンは使用不可。
- ② 訂正箇所は、二重線で訂正してください。修正液・修正テープ等は使用不可。
- ③ 出願書類一式を、以下のいずれかの方法で郵送してください。
 - ・簡易書留速達
 - ・レターパックプラス（レターパックライトは授受の記録が残らないので不可）
- ④ 出願期間を過ぎて提出された出願書類は、一切受け付けません。
- ⑤ 納入された入学検定料および提出された出願書類は、理由の如何を問わず返還しません。
- ⑥ 虚偽の書類が提出された場合あるいは提出書類に虚偽の記載があった場合には、受験資格を取り消します。また、合格後に虚偽の記載あるいは虚偽の書類の提出が判明した場合においても、入学許可を取り消します。

7. 受験票

受験票は簡易書留速達で発送します。その際、試験当日のプログラムを同封します。

受験票発送日	2026年1月30日（金）
--------	---------------

注意事項

日本郵便による不在連絡票を受け取った場合は速やかに対応し、受験票を確実に受け取ってください。

- ① 受験票が未着の場合は、2026年2月4日(水)までに教務課へ電話で連絡してください。
(Tel: 0422-32-4185)
- ② 受験票を紛失した場合は、速やかに教務課に申し出てください。
- ③ 試験当日は、受験票を必ず持参し、常に携帯してください。

8. 試験当日

(1) プログラム

◆1日目:2026年2月10日(火)

① 受付

午前8時40分～50分の間に本人確認等を行います。

② 礼拝

試験に先立って礼拝が行われますので、聖書・讃美歌をお持ちください。

本学では、新共同訳聖書と1954年版讃美歌Ⅰ・Ⅱ編を用いています。

③ 筆記試験

- ・鉛筆・消しゴム等の筆記用具を持参してください。
- ・外国語試験(英語・ドイツ語)に関しては、受験科目に応じて英和辞典・独和辞典1冊の使用を認めるので、書き込みのないものを持参してください。ただし電子辞書は持ち込むことができません。

◆2日目:2026年2月11日(水)

面接試験(口頭試問)

面接開始時刻の30分前を目安に来校し、受験生控室にて待機してください。

面接試験会場では、受験票以外のものを手元に置かないでください。

(2) 注意事項

- ① 事故等でやむを得ず遅刻する時は、教務課へ電話で連絡してください(Tel:0422-32-4185)。連絡できずに遅れて到着した時は、まず教務課で指示を受けてください。
- ② 携帯電話・スマートフォン・ウェアラブル端末・イヤフォン等の使用は禁止です。礼拝・試験開始前にアラームの設定を解除し、電源を切りカバン等にしまってください。
- ③ 試験中に体調が悪くなった場合は、監督者に申し出てください。
- ④ 学生食堂等はありません。試験当日のプログラムによっては、昼食等を持参してください。
- ⑤ 付き添い者の控室はありません。また、受験生以外は建物や敷地の中に入ることはできません。

9. 合格者発表

合格者発表は掲示および通知の送付により行います。

合格者発表日時	2026年2月13日(金) 午前11時
---------	---------------------

(1) 合格者掲示

合格者発表日時から翌日正午まで、合格者の受験番号を本学掲示板に発表します。

(2) 可否通知等送付

合格者には合格通知証および入学手続書類を、不合格者には不合格通知を、発表日に授受の記録が残る郵便(レターパックプラス等)で発送します。その際、出願時提出の「宛名」を使用します。

注意事項

可否通知等の窓口での直接交付は行いません。また、可否に関する電話等による問い合わせには、一切応じられません。

10. 入学手続

入学手続に関する詳細は、合格者に書面で通知します。

(1) 入学金

合格者は入学金を納入締切日までに納めてください。

入学金	290,000円
入学金納入締切日	2026年2月27日（金）

(2) 提出書類

合格者は次の書類を入学手続書類提出締切日必着で提出してください。

- ① 新入時学籍情報
- ② 学生証用写真（データもしくは縦 3.0cm×横 2.5cm のプリント）
- ③ 保証書
- ④ 住民票記載事項証明書（提出日より 3 ヶ月以内に発行されたもの）

入学手続書類提出締切日（必着）	2026年2月27日（金）
-----------------	---------------

(3) 注意事項

- ① 一度納入された入学金および提出された書類は、理由の如何を問わず返還しません。
- ② 締切日までに、入学金納入と入学手続書類提出がない場合は、入学辞退とみなします。
- ③ 入学手続を完了した後、やむを得ない理由により入学を辞退する場合は、速やかに申し出てください。2026 年 3 月 31 日（火）までに入学辞退を届け出る書面が提出され、本学が認めた場合に限り、入学金を除く学生納付金（授業料・施設費）から振込手数料を差し引いた金額を返還します。なお、入学辞退の理由が正当性を欠く場合、および期日までに入学辞退届の提出がない場合は、学生納付金（授業料・施設費）は返還しません。
- ④ 出願時に出願資格となる学校に在籍中であった者は、2026 年 4 月 1 日（水）入学式までに、次の書類の原本（和文または英文）を原則、厳封で提出してください。
 - ・ 出願資格となる大学院等の最終学期の成績が含まれている成績証明書
 - ・ 出願資格となる大学院等の修了証明書
- ⑤ 出願時に日本語能力試験の受験票のコピーを提出した留学生等は、2026 年 4 月 1 日（水）入学式までに、日本語能力試験 N1 の「日本語能力認定書」もしくは「日本語能力試験合否結果通知書」のコピーを提出してください。

11. 初年度学生納付金

詳細は合格者に書面で通知します。

初年度学生納付金		納入額	納入締切日
入学金 (a)		290,000 円	2026 年 2 月 27 日 (金)
学費 *1	授業料 <年額> *2	540,000 円	2026 年 4 月 3 日 (金) 予定
	施設費 <入学時のみ>	240,000 円	
学費合計 (b)		780,000 円	入学後に通知
諸費 *3	神学会費 <年額> *4	3,300 円	
	コピーテキスト代 <年額>	1,000 円	
諸費合計 (c)		4,300 円	入学後に通知
初年度納付金合計 (a) + (b) + (c)		1,074,300 円	

- 次年度以降は授業料・神学会費・コピーテキスト代を納入します。

***1 学費**

入学金と同時に授業料・施設費の全額を納入しても差し支えありません。

***2 授業料**

授業料は学期ごとに分納することができます。その場合の納入額と納入締切日は次の通りです。

- ・前期分 270,000 円：2026 年 4 月 3 日（金）予定
- ・後期分 270,000 円：2026 年 10 月 9 日（金）

***3 諸費**

諸費は 2025 年度実績です。2026 年度の納入額および納入締切日は入学後に通知します。

***4 神学会**

神学会は、神学研究誌『神学』の刊行や講演会の開催等、東京神学大学の神学活動を行っています。本学の専任教員および学生は全員加入し、その会員となることが「東京神学大学神学会会則」により定められています。会員は、毎年度会費を納入することで、当該年度の『神学』の配付を受け、神学会主催の講演会等に出席することができます。

※上記以外の費用として、学生教育研究災害傷害保険料（博士課程後期課程の学生の加入は任意）があります。学生教育研究災害傷害保険とは、大学における学生の教育研究活動中（通学中を含む）に被った災害に対し、公益財団法人日本国際教育支援協会が窓口となった全国的な補償制度です。保険料は年額 800 円。詳細は合格後に通知します。

※長期履修学生制度を利用する場合は、年度毎の納入額が異なります。（次項「12. 長期履修制度」を参照してください。）

12. 長期履修学生制度

長期履修学生制度は、キリスト教職として教会に仕えている、あるいは育児・介護等の事情により研究・学習活動に充てられる時間が限られ、標準修業年限（後期課程は 3 年）では大学院の教育課程の修学が困難な者を対象とした制度です。一定の期間（最長 9 年）にわたって計画的に教育課程を履修し、修了および学位の取得を目指すことができます。

授業料は、標準修業年限（3 年）分の授業料に相当する額を、長期履修期間に応じて納付します。具体的な納入額、納入時期等については、長期履修が許可される場合、合格通知証および入学書類とともに通知します。

本制度の利用を希望する場合は、教務課から願書等の出願書類を取り寄せてください。入学者選抜の出願期間内に、願書等の出願書類とともに、①長期履修学生志願書、②理由書、③申請資格を証明する書類のコピー（①②は所定用紙を希望者に配付）を提出してください。なお、入学後の 2 年次までに申請することもできます。

13. 受験時および入学後に配慮が必要な場合

東京神学大学では、障がい等の事由で受験時・入学後に配慮が必要な場合、個々の状況に応じた合理的な配慮を行っています。配慮を希望する際は、次の手順により申請してください。

(1) 手順

- ① 出願前に教務課入試係に面談を申し込みます。2025 年 12 月 6 日（土）〔オープンキャンパス〕までに面談を終えられるよう日程に余裕を持ってください。
- ② 所属教会等牧師または代理者の同席のもと、本学入試担当教員と面談し、障がい等の状況・教会生活の状況・希望する配慮等について確認します。
- ③ 面談を受けて本学が検討したこと、ならびに、受験時・入学後に本学が提供し得る合理的配慮の内容を書面で受け取ります。
- ④ 上記③に同封される「受験上の配慮申請書」（本学所定）および「障害者手帳」（障がいの種類と等級記載のページ）のコピーまたは医師の診断書を、出願書類と共に出願期間内に提出します。

(2) 注意事項

- ① 合格した場合、入学手続完了後に、修学上の具体的な配慮について改めて確認することもあります。
 - ② 出願後、不慮の事故等により同様に配慮を希望するに至った場合も、速やかに申し出てください。
- ※提出書類は希望する配慮について確認するためのものであり、合否に一切関係しません。

<参考> 筆記試験

外国語試験

聖書神学専攻・組織神学専攻とも外国語試験(英語・ドイツ語より1科目を選択)が課せられます。試験時間は90分です。受験科目に応じて、英和辞典または独和辞典1冊のみ持ち込むことができます。電子辞書は持ち込むことができません。

(1) 出題の意図

神学研究を進めるために必要な、英語あるいはドイツ語の神学文献の理解力を評価します。制限時間内にできるだけ早く、正確に日本語訳することが求められます。

(2) 過去の出題

◆英語

年度	出典
2025年度	John D. Zizioulas, <i>Communion and Otherness: Further Studies in Personhood and the Church</i> , ed. Paul McPartlan (London and New York: T&T Clark, 2006), pp. 286-289.
2024年度	John Polkinghorne, “The Demise of Democritus”, in J. Polkinghorne ed., <i>The Trinity and an Entangled World: Relationality in Physical Science and Theology</i> (Grand Rapids and Cambridge: William B. Eerdmans Publishing Company, 2010), pp. 11-13.
2023年度	B. A. Gerrish, <i>Continuing the Reformation: Essays on Modern Religious Thought</i> (Chicago: University of Chicago Press, 1993), pp. 1-3.

◆ドイツ語

年度	出典
2025年度	Bernd Oberdorfer, „Das reformatorische Schriftprinzip: Historische und gegenwärtige Perspektiven“ in Wilhelm Damberg u.a. (Hg.), <i>Gottes Wort in der Geschichte</i> . (Freiburg: Herder 2015), S. 71-73.
2024年度	Michael Wolter, <i>Jesus von Nazaret</i> (Göttingen: Vandenhoeck & Ruprecht, 2019), S. 15-16.
2023年度	Heinrich Ott, Klaus Otte, <i>Die Antwort des Glaubens: systematische Theologie in 50 Artikeln</i> (Stuttgart: Verlag W. Kohlhammer, ³ 1999), S. 41-42.

願書等出願書類 所定用紙集について

東京神学大学 大学院 神学研究科博士課程前期課程選抜・後期課程選抜の出願に必要な書類は以下の URL からダウンロードできます。(右の QR コードからもアクセス可)
A4 サイズの紙に印刷してください。

【博士課程前期課程選抜】

<https://www.tuts.ac.jp/admission/m/>



【博士課程後期課程選抜】

<https://www.tuts.ac.jp/admission/d/>



ACCESS

JR中央線 武蔵境駅

 南口から乗車、約8分

②番のりば: 国際基督教大学ゆき **境93**

③番のりば: 狛江駅北口ゆき 他 **境91**

④番のりば: 吉祥寺駅ゆき 他 **吉01**

JR中央線 三鷹駅

 南口から乗車、約15分

⑤番のりば: 国際基督教大学ゆき 他 **鷹51**

京王線 調布駅

 北口から乗車、約20分

⑭番のりば: 武蔵境駅南口ゆき 他 **境91**

⑭番のりば: 三鷹駅ゆき **鷹51**

小田急線 狛江駅

 北口から乗車、約45分

①番のりば: 武蔵境駅南口ゆき **境91**



【問い合わせ】

東京神学大学 教務課入試係

〒181-0015

東京都三鷹市大沢 3-10-30

Tel : 0422-32-4185

Fax : 0422-33-0667

Mail : tuts@tuts.ac.jp

URL : <https://www.tuts.ac.jp>

